

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 042	提案機関名 農業技術センター足柄地区事務所
要望問題名 水田裏作としてのナバナ栽培方法の確立	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 地元農協直営の大型直売所では、冬期間における葉物の需要が高いが地域での生産量はさほど高くないことから、地場産率を高めるために、直売所へ出荷している生産者へ栽培を要請している状況である。管内の水田裏作として、主にタマネギが栽培されているが、葉物はほとんど栽培されていない。 そこで、特に春先に需要の高いナバナについて、水田裏作に適合した品種の選定や被覆資材の活用など栽培体系の確立をお願いしたい。	
解決希望年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究部
対応区分	実施 実施中 継続検討 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合)			
対応の内容等 ナバナは葉菜が抽苔を迎える春先において出荷が可能な作物として有望と考えられます。当所では、「のらぼう菜」等の <i>Brassica napus</i> に属するナバナの特性評価を実施してきました。 現地実証ほを設置する場合は協力します。			
解決予定年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			